

# 近代英語協会ニューズレター

2011年(平成23年)12月16日

近代英語協会事務局

〒732-0063 広島市東区牛田東 4-13-1

広島女学院大学大学院言語文化研究科

英米言語文化専攻米倉研究室

協会ホームページ <http://www.modernenglish.jp/index.html>

(電話: 082-228-0386(大代表) 振替口座 00810-9-5821)

## 1 近代英語協会第29回大会について

第29回大会は、日本英文学会大会(2012.5.26-27、於専修大学生田キャンパス)前日の5月25日(金)に、青山学院大学(東京都渋谷区)において開催されます。

シンポジウムは、「文法化と構文化(仮題)」というテーマの下、愛知学院大学准教授 前田満先生に司会と講師を、青山学院大学名誉教授 秋元実治先生、愛知大学教授 川端朋広先生に講師を務めていただきます。

開催校の秋元実治先生、中澤和夫先生、山本史歩子先生には大変お世話さまになります。

個人研究発表の締め切りは2011年1月31日(火)となっております。発表をご希望の方は、300字程度の要旨に氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、e-mailアドレス)を添えて、下記宛てにお申し込み下さい。

電子ファイル(MSWordの添付ファイルにて)

[nakamura@for.aichi-pu.ac.jp](mailto:nakamura@for.aichi-pu.ac.jp)

打ち出し原稿(特殊文字なくば不要)

〒480-1198

愛知県愛知郡長久手町大字熊張

字茨ヶ廻間 1522-3

愛知県立大学外国語学部

中村不二夫

## 2 『近代英語研究』第28号の発行について

12編の論文、5編の研究ノート、1編の書評のご投稿がありました。ご応募いただきありがとうございました。編集委員会の厳正なる審査結果は次のとおりです。2012年5月

の発行を目指して、現在編集作業が進められております。

	論文	研究ノート	書評
掲載可	3		1
再審査	3	3	
掲載不可	5	2	

なお、論文1編が、投稿規定に抵触するため審査対象外となりました旨申し添えます。

## 3 『近代英語研究』第29号の投稿締め切りについて

第29号(2013年5月発行)の投稿締め切りは2012年9月15日となっております。ふらつてご応募ください。審査はすべて匿名で行われます。応募要領は、協会ホームページ左下「出版物」の中の「投稿要領」をご覧ください。応募原稿、同電子ファイルの送付先は次のとおりです。

電子ファイル

[hideshi.ohno@gmail.com](mailto:hideshi.ohno@gmail.com)

打ち出し原稿

〒712-8505

倉敷市連島町西之浦 2640 番地

倉敷芸術科学大学産業科学技術学部

大野英志

## 4 新編集委員長について

新委員長として、浮網茂信先生(大阪大谷大学教授)が選出されました。任期は、2012年4月1日~2013年3月31日の1年間です。

## 5 近代英語協会最優秀新人賞ならびに 優秀学術奨励賞について

第 28 号分の受賞者の有無は、第 29 回大会および来夏のニューズレターでお知らせします。

既にご案内のとおり、賞には、最優秀新人賞と優秀学術奨励賞の 2 種類があります。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に秀でている論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性を感じさせ優れていると評価された論文に与えられます。論文応募の際、「執筆者情報ファイル」の該当欄に (v) をご記入いただくだけで結構です。選考対象は、「協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時時点で 37 歳以下の、または修士号取得後 10 年以内の執筆者による論文のうち、原稿応募時に「執筆者情報ファイル」において賞の選考を希望する意思が表明されていた論文」（選考規程第 2 条より）です。

## 6 論文投稿・研究発表応募に関するお願い

編集委員会から、入念な英文チェックがなされていない原稿がここ数年増えてきているのでニューズレターで周知徹底してほしいという依頼がありました。

『近代英語研究』投稿規定に明記されておりますように、英語論文については、英語を母語としない投稿者は投稿前に必ずネイティブ・スピーカーによる原稿の入念なチェックを受けた上でご応募ください。

また、他誌への二重投稿はもちろん、他学会研究発表への二重応募も絶対にお止めください。

## 7 会費納入のお願い

本年 4 月に大会資料をお届けした折、また、ニューズレター夏号をお届けした際に、未納会費の請求をしましたところ、多くの方が納入くださいました。何かと物入りな折、誠にありがとうございました。

まだお納めでない方もいらっしゃいます。どうか、協会の円滑な運営のため、納入くださいますよう切にお願いいたします。郵便局からの、過去の払込通知は事務局に保管してありますので、不確かな場合は nakamura@for.aichi-pu.ac.jp へお問い合わせください。

## 8 『近代英語研究』電子アーカイブ化に伴う著作権委譲に関する告知(お願い)

近代英語協会は、1984 年の創刊以来、協会誌『近代英語研究』を刊行してまいりました。これも偏に会員各位のご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、第 28 回大会総会（於福岡女子大学）において承認され、ニューズレター夏号においてご報告申し上げましたとおり、本協会は、直近の 5 号分と周年記念号を除くすべての号をアーカイブ化することとなりました。収録された論考を世界に向けて発信するため、また、年々累積していく本誌の保管場所の問題を解消するためであります。本協会事務局は、7 月末以来本誌のアーカイブ化に向けて申請書類を整え、独立行政法人科学技術振興機構に申請しましたところ、同機構電子アーカイブ対象選定委員会によって、本誌創刊号から第 24 号までが、無料にて同機構のインターネットウェブサイト上で公開される対象誌として認定される運びとなりました。第 25 号以降は、刊行後 5 年を経過するたびに、順次公開されます。

これにあたり、電子化される論文はすべてが同機構のサーバーに保存されるため、著作権が本協会に帰属していることが条件となります。本誌の電子アーカイブ化にあたっては、著作権法により、掲載された論文等の著者からその著作権（複製権、公衆送信権を含む）の許諾または譲渡を必要とします。本協会事務局は、創刊以来、すべての著作権は本協会に帰属すると考えておりますが、文言として必ずしも明確に規定されていないのが実情です。

これらの事情から、本電子アーカイブ化を進めるにあたり、創刊号以来の著作すべての著作権が本協会に帰属するものとさせていただきたく、本来ならば会員ならびに著者の皆様お一人お一人に「著作権の許諾手続き」を行うべきではございますが、当該公告を以って著作権の譲渡をお願い申し上げる次第です。

万一、本件をご承諾いただけない場合、あるいはご不審な点がある場合は、2012年3月31日までに、文書または電子メールにて本協会下記事務局にお申し出ください。本協会は、本告知が著者の皆様の目に触れることを前提としておりますが、何らかのご事情でこの件をお知りになる機会がなかった場合には、期限を過ぎていまして、改めて個別にご相談させていただく所存です。なお、お申し出のない場合には、ご承諾いただけたものとし、電子アーカイブとして公開する時期がまいりました段階でご論考を掲載させていただきたく存じますが、公開後の会員ならびに著者の皆様からの記事取り下げ要求に際しても柔軟に対応させていただきます。

以上、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今後刊行する本誌におきましても、すべての著作権は本協会に帰属することをご承認いただきたく、当該公告を以ってお願い申し上げます。

〒480-1198

愛知県愛知郡長久手町大字熊張

字茨ヶ廻間 1522 - 3

愛知県立大学外国語学部

中村不二夫

eメール nakamura@for.aichi-pu.ac.jp

(なお、本件は、すでに協会ホームページにも掲載されています。)

## 9 30周年事業について

ニューズレター本年夏号でご案内しましたとおり、1983年5月に産声を上げた近代英語協会は、2013年5月にめでたく創設30

周年を迎えます。30周年記念行事の一環として、次の(1)、(2)が承認されています。

- (1) 第30回大会(2013年5月)の午前の部は、30周年記念シンポジウムを行う。テーマと講師の選定は、理事会が行う。
- (2) 創設30周年を記念し、『近代英語研究第30号』とは別に、30周年記念論文集を刊行する。
  - (a) 積極的に海外に発信するために、全編英語で統一する。
  - (b) 2013年4月1日～6月30日を投稿受付期間(予定)とする。
  - (c) 刊行は、遅くとも2014年4月中旬から下旬にかけてとする。
  - (d) 執筆要領は編集委員会が作成する。
  - (e) 出版に関わる費用は、寄付金と執筆者負担によって賄う。
  - (f) 寄付金受付期間は、2012年8月1日～2013年7月31日とする。

執筆要領は、ただいま編集委員会が作成しており、会員の皆様には、第29回大会総会にていち早くお知らせしたのち、ニューズレター2012年夏号、冬号、及び協会ホームページにおいてもお知らせいたします。

## 10 お悔やみ

2名の方の訃報が事務局に寄せられました。

本年10月22日、協会の発起人のお一人であり、協会の発展にご尽力いただいた、東京学芸大学名誉教授 宇賀治正朋先生が逝去されました。先生には、2004年4月1日から2011年10月22日まで顧問を、1984年4月1日から1998年3月31日、1999年4月1日から2001年3月31日まで理事を、1990年4月1日から1993年3月31日まで編集委員(同一期間中委員長)をお務めいただきました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

また、同日、1993年4月1日～1997年3月31日の4年間に亘り編集委員をお務めいただいた、大阪外国語大学名誉教授 金山崇

先生が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

金山崇先生の訃報は協会ホームページでお知らせいたしましたが、宇賀治正朋先生の訃報は、ご遺族のご希望により、本日まで伏せておりました。お別れの会の詳細がわかり次第協会ホームページに掲載いたします。

ご冥福をお祈り申し上げます。

## 11 事務局から

住所、所属、会員資格等に変更が生じた場合、速やかに事務局長までお知らせください。私の調査には、限界があります。

以上

協会に関するお問い合わせとご連絡は次にお願いたします。

- 協会誌について  
大野英志  
([hideshi.ohno@gmail.com](mailto:hideshi.ohno@gmail.com))
- ホームページについて  
川端朋広  
([kawabata@aichi-u.ac.jp](mailto:kawabata@aichi-u.ac.jp))
- その他全般について  
中村不二夫  
([nakamura@for.aichi-pu.ac.jp](mailto:nakamura@for.aichi-pu.ac.jp))

良い年をお迎えくださいますように...